

修士生および平成 29 年度大学院在学学生対象の公認心理師受験資格のための科目読み替え表

「公認心理師法附則第 2 条第 1 項第 1 号から第 4 号までに規定する公認心理師になるために必要な科目の取扱いについて」（別表 2）大学院における必要な科目 (平成 29 年 9 月 15 日。29 文科初第 881 号、障発 0915 第 9 号)			本学の読み替え科目	
I	I（1～5）については、1 を含む 3 科目以上を履修する。	1	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論（D 群）
		2	福祉分野に関する理論と支援の展開	障害者（児）心理学特論（D 群） 老年心理学特論（D 群）※2 発達心理学特論（B 群）※2
		3	教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学特論（E 群）※1
		4	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	犯罪心理学特論（C 群） 臨床心理関連行政論（C 群）※2
		5	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	なし
II	II（6～9）については、2 科目以上を履修する。	6	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習（必修）
		7	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論（必修） 心理療法特論（E 群）※1
		8	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論（C 群） グループアプローチ特論（E 群）※1
		9	心の健康教育に関する理論と実践	なし
III	III（10）については、必ず履修する。ただし、施設の分野及び時間数については問わない。	10	心理実践実習（450 時間以上）	臨床心理実習（必修）

※1・・・協会指定条件付き読み替え科目
・平成 29 年度在学学生以前の履修者は読み替える

※2・・・大学院裁量読み替え科目

以上